

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	疎経活血湯のパクリタキセル誘発性末梢神経障害に対する後ろ向き解析
	研究対象者	パクリタキセル誘発性末梢神経障害と診断された患者さんのうち、2020 年 1 月から 2025 年 9 月の間に神奈川県立がんセンター東洋医学科で治療を受けられた方
	研究目的	抗がん剤による治療では、手足のしびれや痛みといった末梢神経障害がよくみられ、生活の質を下げたり、治療を続けにくくしたりすることがあります。特にパクリタキセルでは多くの方に症状が現れ、長く続くこともあります。疎経活血湯は昔からしびれや痛みに使われてきた漢方薬で、血流を良くし炎症を抑える働きが期待されています。本研究では、この漢方薬が抗がん剤による末梢神経障害の改善に役立つかどうかを、過去の診療記録をもとに調べます。
	研究方法	過去の診療記録の情報を活用しデータ解析を行います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 1 0 月 2 7 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[☒]総長が研究実施を許可した日 [☐]西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[☐]試料:	[☐]血漿、[☐]血清、[☐]全血、[☐]末梢血から抽出した DNA、 [☐]病理検体(具体的に記載: _____)、 [☐]尿、[☐]糞便、[☐]唾液、[☐]胸水、[☐]腹水、[☐]脳脊髄液、 [☐]毛髪、[☐]その他(具体的に記載: _____)
	[☒]情報:	[☒]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[☒]年齢、[☐]生年月日、[☒]性別、[☒]既往歴、[☒]併存疾患、[☒]外来日・入院日・退院日、[☒]臨床検査値、[☒]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[☒]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 [☐]ゲノムデータ、[☒]看護記録、[☒]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 東洋医学科 板倉 英俊
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・東洋医学科・板倉英俊・045(520)2222(代表) 利用停止のお申し出は 2026 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります